

# 第59回文化財防火デーの実施

## 予防課

昭和24年1月26日に日本最古の壁画が描かれた法隆寺金堂が焼損し、その後も文化財の焼損が相次いだことから、消防庁と文化庁では、昭和30年から1月26日を「文化財防火デー」と定め、全国的に文化財防火運動を展開しています。

文化財は、私たちの祖先が今日まで残してくれた国民共通の貴重な財産であり、一度燃えてしまうと二度と元には戻りません。文化財建造物の多くは木造建築であるため、いったん火がつくと延焼拡大が極めて速くなるおそれがあります。貴重な文化財を火災から守り、後世に伝えていくためには、日ごろから防火意識を持ち、関係者だけでなく、地域住民等との連携・協力が必要です。

今年も文化財防火デーの1月26日（土）を中心に、全国各地で地域ぐるみ、住民ぐるみの消防訓練等が実施されました。

### ■平成25年1月23日（水）

訓練場所：浅草寺（東京都台東区）

鎌倉時代に将軍の篤い帰依を受けた浅草寺は、次第に外護者として歴史上有名な武将らの信仰をも集めました。そして江戸時代の初めには、徳川家康公によって幕府の祈願所と定められ、江戸文化の中心として大きく繁栄しました。今日、都内最古の寺院である浅草寺は「浅草観音」の名称で全国的にあらゆる人達に親しまれ、年間約3,000万人もの参詣者が訪れ、民衆信仰の中心地となっています。

東京消防庁のほか、日本堤消防団、自衛消防隊、災害時支援ボランティアなどが参加して、初期消火、通報、避難誘導、重要物品の搬出、応急救護、消防活動等の訓練が行われました。

### ■平成25年1月26日（土）

訓練場所：善導寺（福岡県久留米市）

善導寺は、鎌倉時代に創建された浄土宗の七大本山の一つ、九州の浄土宗の根本道場で、筑後平野に大伽藍を形成しています。本堂は25.5m×27.4mの大規模な仏堂で、九州地方では最大級です。

久留米広域消防本部のほか、久留米市消防団、自衛消防隊、善導寺コミュニティ振興会などが参加して、初期消火、通報、避難誘導、重要物品の搬出、消防活動等の訓練が行われました。



浅草寺への一斉放水（写真提供：東京消防庁）



久留米市立善導寺保育園による防火の誓い（写真提供：文化庁）



善導寺コミュニティ振興会による初期消火（写真提供：文化庁）

#### 問い合わせ先

消防庁予防課予防係 根本  
TEL: 03-5253-7523